

## 障害者（児）実態・意向調査の概要について

### 1 目的

平成 29 年度に予定している障害者計画の策定に向け、計画の基礎資料となる障害者（児）の生活実態、サービス事業所の状況を調査するとともに、障害福祉施策への意向を把握するため、実態・意向調査を行う。

### 2 調査の種類、対象者等

本調査では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児及びサービス事業所を対象とした量的調査（アンケート調査）及び区内施設を利用する知的障害者を対象とした質的調査（グループインタビュー調査）を実施する。

#### (1) 量的調査（アンケート調査）

##### ① 調査種類

- ア 在宅の方
- イ 施設に入所している方
- ウ 障害児
- エ サービス事業所

##### ② 調査対象者

###### ア 身体障害者実態調査

区内に居住又は区外施設等に入所している身体障害者手帳所持者  
約 1,870 人（全体約 4,700 人）

（肢体・内部疾患については無作為抽出、その他の障害については全数）

<内訳>

視覚：約 340 人（全数）、聴覚：約 320 人（全数）、音声・言語：約 60 名（全数）  
肢体：約 2,380 人（約 600 人を抽出）、内部：約 1,600 人（約 550 人を抽出）

###### イ 知的障害者実態調査

区内に居住又は区外施設等に入所している愛の手帳所持者  
約 840 人（全数）

###### ウ 精神障害者実態調査

区内に居住の精神障害者福祉保健手帳所持者  
約 1,060 人（全数）

###### エ 難病患者実態調査

区内に居住の難病患者（医療券所持者）  
約 1,600 人（全数）

###### オ 障害児実態調査（障害児通所支援等受給者証所持者）

約 300 人（全数）

###### カ 区内事業所

区内にある障害福祉サービス、児童福祉サービス事業を行う事業所  
約 80 施設

## (2) 質的調査（グループインタビュー調査）

### ① 調査種類

施設訪問による聞き取り調査

### ② 調査対象者

区内施設を利用する 18 歳以上の愛の手帳所持者

## 3 調査項目

### (1) 量的調査

対象者の属性（年齢、障害状況等）、居住環境、介護状況、外出環境、就労状況、防災、相談・情報提供等

### (2) 質的調査

日中及び施設での過ごし方、今後希望する生活、余暇、相談、就労状況、防災等

## 4 調査方法

### (1) 量的調査

原則、アンケート（郵送配布・郵送回収）方式。ただし、視覚障害者へは、希望により訪問または電話での聞き取り調査を実施する。

### (2) 質的調査

区内施設での訪問聞き取りを中心に行う。東洋大学との協働で実施予定。

## 5 調査時期

### (1) 量的調査

平成 28 年 9 月下旬～10 月下旬 調査票配付・回収

### (2) 質的調査

平成 28 年 9 月～10 月下旬 グループインタビュー調査実施

## 6 今後のスケジュール

平成 28 年	8 月 2 日	第 2 回地域福祉推進協議会（調査項目（案）の報告） 第 3 回地域福祉推進本部（調査項目の報告）
	9 月～11 月	【質的調査】グループインタビュー実施・集計・分析
	10 月	【量的調査】調査票発送・回収
	11 月	【量的調査】集計・分析
平成 29 年	1 月	第 2 回障害者部会（調査結果の報告） 第 3 回地域福祉推進協議会（調査結果の報告） 第 4 回地域福祉推進本部（調査結果の報告）
	2 月	2 月議会（調査結果の報告）
	3 月	調査報告書納品